

6月は「環境月間」

*環境にやさしい暮らしを

私たちの暮らしは昔に比べて便利で快適なものとなっていますが、それは同時に環境に大きな負荷を与えてきました。エネルギー(電気・ガス・水など)の消費によって発生する二酸化炭素は、異常気象や海面上昇、食料危機などを引き起こす地球温暖化の主な原因とされています。また、必要以上の豊富な商品は大量の廃棄物を生み出し、開発による自然破壊は生態系に大きな影響を与えています。私たちは利便性

問合せ ☎ 958-1111 内線2830

を追求するあまり、さまざまな環境問題を生み出してきているのです。

これらの環境問題を解決するために、一人ひとりができることは小さいかもしれませんが、みんなで取り組めば必ず大きな効果を生み出します。これまでのライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らしを実践して地球にも家計にもやさしいエコ家族を目指しましょう。

環境騒音の状況…

市内の公園など幹線道路に面しない一般地域23地点で環境騒音調査を実施しました。また、市内を通過する幹線道路沿道6地点で、24時間自動車騒音の監視を行いました。結果として、一般地域では昼間の時間帯で子供の遊ぶ声等で基準を超過した地点が数か所あり、道路沿道においては、交通量の増加により、基準の達成状況もほぼ横ばい状態で、一層の環境改善が課題となっています。

※数値は昼間、()内は夜間。
 ※環境基準の達成状況は、昼夜間共達成していた地点割合。
 ※A類型は第1、2種低層住居専用地域・第1、2種中高層住居専用地域、B類型は第1、2種住居専用地域・準住居地域、C類型は近隣商業施設・商業施設・準工業地域である。

表 一般地域の環境騒音の状況

	市内平均	A類型の地域	B類型の地域	C類型の地域
騒音レベル(LAeq)	54(47)dB	50(42)dB	49(45)dB	58(53)dB
環境基準値(LAeq)		55(45)dB	55(45)dB	60(50)dB
環境基準の達成状況		89%	92%	87%

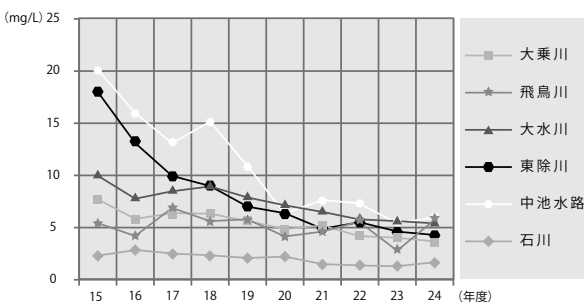
表 幹線道路の面する地域の環境騒音の状況

	市内平均	2車線以下の道路	2車線を越える道路
騒音レベル(LAeq)	69(64)dB	67(64)dB	70(65)dB
環境基準値(LAeq)		65(60)dB	65(60)dB
環境基準の達成状況		0%	0%

河川水質の状況…

市内を流れる河川で、水質の監視を実施しました。河川水質を代表する指標であるBOD(生物化学的酸素要求量)は、石川、東除川、大乗川で環境基準値を達成していますが、その他の河川については、多少改善されているものの基準値達成には至っていません。引き続き、生活排水対策、下水道整備などの取り組みを進めることが重要です。

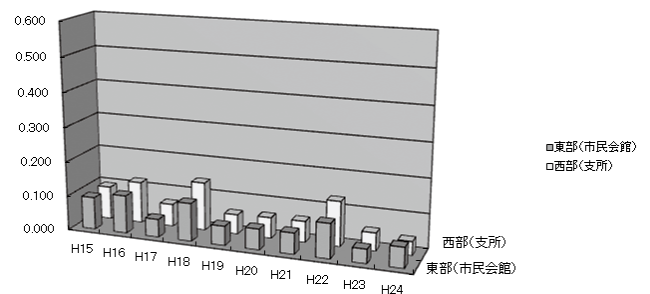
※石川はB類型で3mg/L、東除川、飛鳥川はC類型で3mg/L、大乗川、大水川、中池水路は類型指定がなく、ここではC類型としている。



一般大気(ダイオキシン)の状況…

市域のダイオキシン類による汚染状況を把握するため、一般環境大気について、夏季と冬季に市内2カ所(市民会館・支所)で調査を実施しました。市民会館は0.040pg-TEQ/m³、支所は0.059pg-TEQ/m³で、両地点とも環境基準値を下回っていました。また経年変化には変動があるものの年々減少の傾向がみられ、平成15年以降はほぼ横ばいの状態である。

DXN(一般環境大気)



6月1日～7日は水道週間です

「復興の未来と生命(いのち)照らす水」です。

6月1日から7日までは「第55回水道週間」です。水道週間は水道について国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るとともに、水道事業の更なる発展に役立てることを目的として毎年実施されています。

今年の水道週間のスローガンは「復興の未来と生命(いのち)照らす水」です。

この機会を通して市民の皆様一人ひとりに水質保全や水の大切さを理解していただくとともに、将来に向かって、大切な資源である「いのちの水」について関心を更に深めていただくものです。

水道局では市民の皆様安全でおいしい水の供給確保に努めてまいります。

水道局 ☎ 958-1111(代表)



第55回水道週間ポスター